

仕事を知る!

適職を知る!

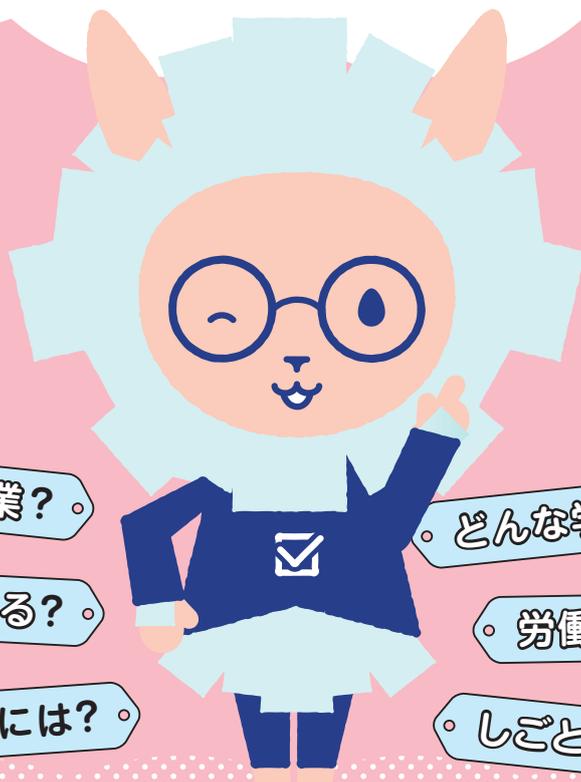
職業情報提供サイト

job tag

job tagは、500を超える職業のそれぞれについて、
仕事内容、その仕事で行うタスク、
必要なスキルや就業経路などの情報を「見える化」して、
学生・生徒の皆様の職業理解、仕事を探している方の就職活動や、
企業の皆様の採用活動などを支援するサイトです。

活用ガイド

職業情報



どんな職業? ◦

具体的に何を? ◦

就業するには? ◦

◦ どんな学歴の人が多い職業なの?

◦ 労働条件の特徴は?

◦ しごと能力プロフィール



気になる職業が詳しくわかる 職業情報

job tagは、500を超えるそれぞれの職業について、仕事の内容、行うタスク、必要なスキルやその職業に就くまでの経路などに関する情報を掲載しています。希望する職業ではどのような仕事をするのか、どのようなスキルが求められるのかといった情報を確認することができます。

職業に関するこんな情報を掲載しています



どんな職業？

個々の職業の全体像に関する説明文や90秒程度の職業紹介動画を掲載しています。また、使用する機器等の情報も掲載しています。ハローワークインターネットサービスに移動して、ハローワークの求人を検索することもできます。

どんな仕事？

顧客のIT戦略に關して、コンサルティングを行い、提案、助言する。顧客のIT投資において、大体的な観点から、経営戦略の策定（目標やビジョンの策定）に関してコンサルティングを行ったり、具体的に、顧客の情報化に関して、課題の整理や分析、またその解決法を検討する。

経営戦略におけるIT投資のコンサルティングは経営コンサルタントの仕事に近く、ITの知識を活用し、IT活用を前提とした経営コンサルティングといえる。具体的な経営戦略や課題の分析はシステムエンジニアの仕事に近く、ITや通信技術を活用し、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークによって構成されるシステム全体の設計や開発の検討を行う。この際、システム構築事業者からは独立した客観的な立場から、開発するシステムについて検討する。経営戦略のコンサルティングから具体的な開発のコンサルティングまで、仕事は幅広いが、どちらかに特化して仕事をする場合もあり、領域の小さな案件ではこの両方を担当する場合もある。

IT投資のコンサルティングでは、顧客、市場、業界に関する情報を収集し、関連する法規制を把握し、顧客の経営計画、ビジョン、ミッション、課題等を整理する。経営戦略に關して、顧客と意見交換したり、経営トップの考え方を把握する。このように収集、整理した情報から、経営の観点で課題を抽出し、IT投資によって課題をどのように解決するか戦略を考案する。

IT開発のコンサルティングでは、顧客のビジネスやITでの課題を分析し、情報システム構築のソリューション（解決策）を検討する。情報機器、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、またセキュリティなどを総合的に考え、開発するシステム全体の構造や開発方針に關して提案する。開発するシステムが満たすべき基準を明らかにしたり、技術的なリスクについても事前に影響等を評価する。

大規模なシステムの場合では、様々な技術者や色々な会社と共に開発やシステムを検討する。主に自社で仕事をし、顧客先でプレゼンしたり会議をする。



◇ よく使う道具、機材、情報技術等
 文書作成ソフト（Word、一太郎等）、表計算ソフト（Excel、スプレッドシート等）、プレゼン資料作成ソフト（PowerPoint、Keynote等）、パソコン

[掲載している職業情報について（ご意見募集など）](#)
[掲載情報や検索履歴を行う。](#) [掲載情報や検索履歴を行う。](#)

実施率	実施順	タスク内容
66.7%	1	顧客、市場、業界に関する情報を収集、整理する。
55.5%	2	情報システム構築による解決法を検討する。
51.8%	3	顧客の経営計画、ビジョン、ミッション、課題等を整理する。
47.1%	4	顧客のビジネス上及びIT上の課題を分析する。
47.1%	5	検討したIT戦略をプレゼンする。
43.1%	6	顧客と意見交換したり、経営トップの考え方を把握する。
42.2%	7	顧客のIT投資の戦略を検討する。
33.3%	8	開発するシステム全体の構造や開発方針を検討する。
31.4%	9	開発の技術的なリスクについて事前に影響等を検討する。
31.4%	10	開発するITシステムの概要等をプレゼンし、顧客と検討する。
28.4%	11	関連する法規制を把握する。
27.5%	12	実際の開発方法を検討する。
26.5%	13	開発するシステムが満たすべき基準を明らかにする。

具体的に何をする？

その職業ではどのようなタスクを行うのかを具体的に紹介しています。また、それぞれのタスクについて、「実施率」や「実施順」も掲載しています。

就業するには？

その職業に就くまでの一般的な経路(学歴や資格の取得)などの情報を掲載しています。また、訓練講座※に関するサイトと連携して、講座検索などを行うことができます。

※公共職業訓練、教育訓練給付対象講座、社会人向けの講座(マナビス)、デジタルスキル習得講座(マナビDX)

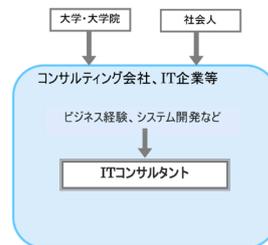
就業するには？

この仕事に就くためには、情報系や経営系の大学・大学院を卒業し、IT企業や経営コンサルティング会社で実務経験を積むのが一般的である。多くの場合、ITシステムの構築や運用を長く経験した者か、様々な経営コンサルティングに携わりITの専門能力も高い者である。

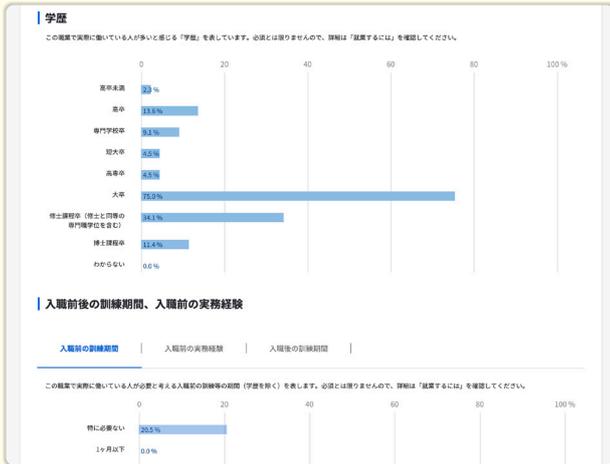
顧客のIT戦略のコンサルティングを行ったり、実際に顧客にシステムを導入するまでの一連の作業の経験を重ね、スキルを高めていく。また、経営もITも、必要となる知識やスキルは非常に幅広いので、業種や対象とするシステムについて得意分野を持つことが多い。

ITコンサルタントは、顧客、市場、業界、また、関連法規をよく理解し、ITを活用した経営戦略を考えられることが必要である。また、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークに関する知識や経験が必要である。

ビジネスや社会の変化や動向を的確に把握しておく必要があり、ITは技術革新が急速なため、常に新たな技術や製品について情報収集することも必要である。また、顧客のために最善となる方を客観的に検討することが求められる。



[掲載している職業情報について（ご意見募集など）](#)



どんな学歴の人が多い職業なの？

その職業に実際に就いている人たちが、自身の職業ではどのような学歴の人が多い職業だと感じているかをグラフにしています。

労働条件の特徴は？

個々の職業の一般的な労働条件や働き方などについて紹介しています。また、就業者数や平均賃金、就業形態などの統計情報を掲載しています。一部のデータは、都道府県ごとのデータを表示することもできます。

労働条件の特徴

勤務先は、シンクタンク、経営コンサルティング会社、システム開発会社等である。職場は都市部に多い。賃金、労働時間等労働条件は勤務先の規定による。担当した案件や仕事の成果によって給与の個人差が大きくなる場合もある。コンサルティングの状況によって忙しさが異なり、IT稼働をまとめるとき、システム開発の方向を決めるとき、また、新たに検討しなくてはならないことが発生した場合等には急遽等の仕事が長時間となることもある。

統計データ

ITコンサルタントが属する主な職業分類（ITコンサルタント）に対応する統計情報です。

※職業別等が複数職業を公表している場合は「労働条件の特徴」本文に記載されていることがあります。

都道府県を選択 | データ表示対象地域を選択（就業統計データおよび求人統計データの都道府県別の数値が表示されます。）

就業者統計データ

就業者数	労働時間
全国 656,770 人 <small>都道府県を選択すると都道府県別の数値が表示されます。</small>	全国 166 時間 <small>都道府県を選択すると都道府県別の数値が表示されます。</small>
賃金（年収）	年齢
全国 660.4 万円 <small>都道府県を選択すると都道府県別の数値が表示されます。</small>	全国 40.5 歳 <small>都道府県を選択すると都道府県別の数値が表示されます。</small>

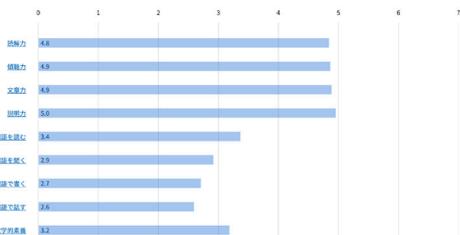
しごとと能力プロフィール

自分のしごとと能力プロフィールと比較

スキル | 知識 | アビリティ | 興味 | 仕事価値観 | 仕事の性質 | 各数値の詳細解説ページはこちら

どのようなスキルがどの程度必要かを職業間で比較可能な形で表しています。初級や自分自身のスキルと比較することができます。

この職業の「しごとと能力」プロフィール | この職業に関係のない「しごとと能力」プロフィール



しごとと能力プロフィール

その職業に求められる「スキル」、「知識」、「アビリティ」、「興味」、「仕事価値観」、「仕事の性質」について、それぞれグラフで表しています。



留意事項

職業解説について：掲載している職業解説は、関連団体、解説の職業の方が働いている企業等からのヒアリング調査や文献調査等を基に作成しています。同じ職業であっても職場ごとに仕事の内容や労働条件等は異なることがあります。また、しごとと能力プロフィールは、それぞれの職業に就いている一部の方へのアンケート調査の回答の平均値等をまとめたものですので、必ずしもその職業全体を正確に反映しているものではありません。

統計データについて：統計情報はそれぞれの統計調査で用いている職業分類をもとに掲載しているため、1つの職業分類には複数の職業が属することもあり、必ずしもその職業のみの統計結果を表しているものではありません。